

消防署 金田分署 消防だより

第4号

発行日:令和4年5月

発行者:消防署 金田分署 担当 工藤、戸倉、相木

〒292-0009 木更津市金田東1-18-1 TEL 0438-40-1119 FAX 0438-40-1190

E-mail sho-kaneda@city.kisarazu.lg.jp

2022年度全国統一防火標語

「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

今年度の防火標語を募集したところ、14,693点の作品が寄せられ、その中から本作品が選出されました。作者の方が外出時に心掛けていることを、コロナ禍である今の世相を反映させ表現したそうで、今のわたしたちが日常生活で注意しなければならないことを的確に捉えた標語だと思います。皆さんも是非、「お出かけは マスク戸締り 火の用心」を実践しましょう。

熱中症・脱水症の予防を！

これからの季節、気温や湿度は日を追うごとにぐんぐん上昇し、汗の量も多くなりやすいため、熱中症や脱水症の危険性が増します。服装での体温調節やこまめな水分補給で熱中症や脱水症を予防し、十分な睡眠で体の調子を整えましょう。気温の変化で体調を崩しやすいこの季節、みなさんも体調に気をつけてください。

もし熱中症になったら...



救命士 たなか君

熱中症は、まず体温を下げる必要がありますので、涼しい場所へ移動させます。この際、氷水をかけるよりもぬるい水をかけてから風に当てるほうが効果的です。氷嚢や保冷剤などが準備できれば、首・わきの下・太ももの付け根など、太い血管が通う箇所にあてるとより冷却効果があがります。熱中症の方は発汗によって、脱水状態になっているので水分を十分に補うことも重要です。汗により水だけでなく塩分も失っているため、できればスポーツドリンクのような、塩分を含むものを飲ませると効果的です。熱中症の人が飲みたくないと言っても励まして飲ませてあげてください。

きさポンからのお願い

金田分署では、定期的に「消防だより」を発行し、季節ごとの防災に関する情報や、消防職員・消防団員の訓練風景、金田分署からのお願いなどをお知らせして参ります。なお、消防団は地域における消防防災のリーダーとして、平常時、非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っている存在で、随時新規団員を募集しています。興味のある方は当消防本部の警防課消防団係までご連絡下さい。木更津市消防団には地域の皆さんの力が必要です。また、金田地区各所で災害に対応した消防訓練などを行わせていただくことがあります。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。(警防課 消防団係 0438-23-9184)



きさポン

119番は共同指令センターで受けています

平成25年4月から一部の市を除き県内2箇所(千葉市・松戸市)で119番を受け付けています。

木更津市や県内南部地区(千葉市から東西に分け東側の地域)から119番を掛けると、千葉市消防局内にある「ちば消防共同指令センター」に繋がり、通報内容を確認後に各消防本部へ連絡(出動指令)がきます。

なお、119番通報の方法はいままでどおり変わりはありませんが、消防車、救急車が向かう場所の住所は必ず市町村名からお伝えください。

併せて、携帯電話からの通報は、GPS機能が「オン」になっていると早期に通報者の位置が取得できるため、消防車・救急車が出動するまでの時間短縮に繋がります。

可能な限りGPS機能を「オン」にしてから掛けていただくようお願いします。

通報する際は慌てず落ち着いてハッキリと

119番通報するときに人によっては、気が動転し正確な情報が伝わらない可能性があります。

指令センターの職員が、ひとつひとつ順番にお聞きしますので落ち着いて火事や事故の状況などの正確な情報を伝えてください。

